

家庭分野 内容B2(住生活) 題材構想シート

学年	2年	題材名	安全で安心な住まいを目指そう	B(6)ア(ア)(イ)イ
<b>生徒に身に付けさせたい資質・能力(何ができるようになるか)</b>				
<p>幼児や高齢者を含む家族において家庭内事故を防ぎ、地震災害に備えるために、安全を考えた住空間の整え方について具体的に考え、工夫することができる。</p> <p>→本質的な問い: どうすれば、家族が安全・安心に過ごせる住まい方が実現できるだろうか。</p>				
<b>授業で働かせる見方・考え方</b>		<b>授業内容</b>		
<p>【健康・快適・安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族の生活との関わり、住居の基本的な機能</li> <li>・家庭内事故とその防ぎ方</li> <li>・家庭内事故の防ぎ方や自然災害への備え</li> </ul> <p>【生活文化の継承】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の伝統的な住宅</li> <li>・住まい方の知恵</li> </ul>		①住まいの基本的な役割と住空間の関係について考える。		
		②気候風土に合わせた日本の住まい方の特徴について理解する。		
		③健康で快適な室内環境について理解し、快適に過ごすための整え方を知る。		
		④住生活の課題を考える。		
		⑤家庭内事故の危険性について理解し、予防や対策を考える。 ・モデル家族の住空間の危険箇所を見つけ、幼児や高齢者に多い家庭内事故の原因と防ぎ方について、話し合い、安全な住空間の整え方を考える。		
		⑥自分の住む地域の災害の危険性やその安全対策について知る。		
		⑦地震災害時、幼児や高齢者を含めた家族の安全な住生活を整えることについて考える。		
		⑧地震災害時の家族の安全を考えた住空間の整え方について発表し、評価改善をする。		
		⑨安全で安心な住まいについてまとめをする。		
<b>問題発見の資料</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族の間取り図の例</li> <li>・日本各地の住まいの静止画や動画</li> <li>・モデル家族(幼児や高齢者を含む)の住空間の図</li> <li>・様々な災害の静止画や動画</li> </ul>		
<b>課題</b>		・家族の安全を考えた住空間の整え方を工夫し、改善しよう。		
<b>予想される生徒の課題</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の家族や地域の実態を知らない。</li> <li>・安全・安心な住まいについて、家族で話し合いができていない。</li> <li>・地震が来るかもしれないと知っているが、手立てができていない。</li> </ul>		
<b>見方・考え方を働かせている生徒の姿</b>		<p>【健康・快適・安全】</p> <p>「もしも住まいがなかったら、どのようなことで困るだろうか。」</p> <p>「健康で快適に住むためには、住空間をどのように使えばよいだろうか。」</p> <p>「心地よい室内環境をつくるためには、どうしたらよいだろうか。」</p> <p>「住まいの危険な箇所は、どこだろうか。」</p> <p>「幼児や高齢者など家族の年齢構成に合わせた安全対策をどのようにすればよいだろうか。」</p> <p>「地震災害への備えとして、住まいの安全対策をどのようにすればよいだろうか。」</p> <p>【生活文化の継承】</p> <p>「日本の伝統的な住まいや住まい方には、どのような特徴があるだろうか。」</p> <p>「日本各地の住まいには、どのような特徴があるだろうか。」</p>		
<b>解決方法の検討・計画</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・モデル家族の住空間の危険箇所から問題点を見つけ、幼児、高齢者などの視点から改善策を考える。</li> </ul> <p>(課題解決に用いる教材)モデル家族(幼児と高齢者をふくむ)の住空間図、様々な安全対策についての資料、地域に起こった災害や今後起こる可能性についての資料</p>		
<b>生徒に実践活動を評価・改善させる方法</b>				
発表(情報交換をして発表を聞き、様々な課題と解決策の工夫について新たな気づきを得る)				
相互評価(他者の解決策の良いところや改善点を付箋で意見交換する)				
自己評価(他者の発表から得たアドバイスをもとに改善策を考え、新たな課題を見付ける)				